

2023 CSR報告書 カンボウプラス

CSR: Corporate Social Responsibility



企業理念

カンボウプラスは
新しい価値の創造を通じて
豊かな社会づくりに貢献します。

CSR基本方針

カンボウプラスは「社会との共生」、「お客様との共生」、「従業員との共生」を目指し、メーカーの責務として、環境に配慮し、お客様のニーズに応えた安全で高品質な製品の提供を通じて社会に貢献します。

CONTENTS

トップメッセージ	2
社会とのかかわり	3
環境とのかかわり	7
その他のかかわり	10

※表紙のイラストはホームページのトップページのイラストを使用しています

カンボウプラスの概要

代表者	代表取締役社長 中村信治
設立	1939年3月24日
資本金	10億2,030万円
決算月	3月
従業員	155人
主要事業	1. ファイバー（繊維）とプラスチック（樹脂）の複合化によるキャンバスの製造と販売 2. キャンバスをデザイン・設計・縫製した製品の販売 3. 一級建築士事務所 建築物・工作物の設計・施工
事業所	本社、東京支店、福井工場
外部認証	福井工場 ISO9001、ISO14001

福井工場 操業50周年を迎えて

<操業50周年を迎えて>

カンボウプラス福井工場は、2022年9月11日に操業50周年を迎えました。これもひとえにご支援いただきました皆様のおかげだと思っております。当時、青木工場（兵庫県神戸市）の樹脂加工部門を福井工場（福井県鯖江市）に移転し、合繊帆布の防火・防水加工が一貫で行える工場が誕生しました。お客様に満足していただける製品の製造を行うとともに、素材の複合化による新機能の開発、新製品の提供に努めることにより、社会に貢献してきました。これからもお客様に満足していただける製品づくりに取り組んでまいります。

<2022年度を振り返って>

2022年度は継続するコロナ禍・ウクライナ情勢の急変・円安の急激な進行・自然災害の頻発といった事態が重なり、これまで経験したことのない経営環境が大きく激変した年となりました。また、原材料価格・原燃料価格・物流費の高騰などが企業業績に大きな影響をもたらしました。このような厳しい経済活動の中でもSDGs（持続可能な開発目標）やカーボンニュートラルへの取り組みは活性化しています。これからも企業として社会的責任を果たし、地域と社会に貢献できる企業活動を継続していきます。

<環境に優しい会社へ>

地球温暖化対策として、脱炭素の取り組みが求められています。CO₂排出量削減の取り組みとして、照明のLED化（水銀灯含む）・省エネ設備導入・カーボンフリー電力の活用など様々な活動を実施しています。またゼロエネルギーで冷却できる膜材料を開発し、CO₂排出量削減・熱中症対策・食品鮮度維持などに貢献できる商品の販売も開始しました。今後も、CO₂排出量の削減・環境配慮型の製品開発・従業員の働き方改革などを考慮した会社となりSDGs経営に取り組んでまいります。

このたび2022年度の活動をまとめた「2023 CSR報告書」を発行いたしました。皆様の忌憚のないご意見・ご感想をお寄せいただければ幸いです。

代表取締役社長 **中村信治**





当社商品のご紹介

当社では、災害時に役に立つ商品の開発、販売に力を入れています。ここでは、一部を紹介します。またwithコロナ・afterコロナを見据え、新商品開発、HP刷新、ECサイト開設、DtoCブランドにも取り組んでいます。

■スペースクール

放射冷却素材「SPACECOOL®」を利用した膜材料の正式販売を開始しました。

SPACECOOL株式会社と共同開発した本製品。膜構造建築物やテント倉庫、医療・防災テントやトラックの荷台カバーでの利用など、暑熱環境を改善したい用途の探索や、様々なパートナー企業とのアライアンスを推進することで、ゼロエネルギーでの冷却による温室効果ガスの排出抑制や熱中症予防・食品鮮度維持などに貢献していきます。



■人工芝「ボルスターフ」

カンボウオリジナルブランドで、人工芝「ボルスターフ」の販売をスタートしました。リアルタイプ「WYK2019」、防災タイプ「EPT-100」の2種類があります。2種類に共通する特徴が、クッション性が高いのに軽量、水はけ性が良いことで、仮設用途に最適な製品となっています。

また、防災タイプは防災認定を取っていることと、人工芝の課題でもあるパイル（マイクロプラスチック）が脱落しないことも特徴になっています。実績としては、日産スタジアムの天然芝周りの陸上トラック上の目隠し、埼玉スタジアムのウォーミングアップルームの床面、どちらもサッカーJリーグに所属するチームのホームスタジアムで採用されています。



日産スタジアム



埼玉スタジアム



■ どこでも、すぐに、住みたくなる心地よさ。「インスタントハウス」

外装がテント倉庫生地、内装がウレタン発泡材で構成されている「インスタントハウス」は、短時間での完工、どこでも設置可能、快適性が特徴の製品です。アウトドア用グランピングテントでの宿泊施設、災害時の仮設住宅・避難所での生活環境整備、患者の隔離・保護など様々なシーンで可能性があることで注目されています。



■ 原反端材を使ったアップサイクル商品

フレキシブルコンテナバッグを製造する際に出る、EVA素材の原反端材を再利用した、アップサイクル商品が完成しました。原反のビビッドな色合いを活かしたシンプルなデザインにこだわり、名刺入れ、PC・書類ケース、ブックカバーの各3色を展開、地球環境に優しい商品企画に力を入れています。3種類とも自社ECサイトでの販売、展示会への出展を予定しています。



名刺入れ



ブックカバー



PC・書類ケース



■ 防災カタログの更新

災害避難時など防災に関わるカタログのリニューアルをいたしました。
幅広い防災商品のラインナップを取り揃えております。
下記URLにてカタログの内容をご覧くださいませ。

<https://kanbo.co.jp/cms/wp-content/uploads/2021/03/防災カタログ.pdf>

カンボウプラスは、あなたの暮らしに **防災商品** をご提案いたします。

防災商品は「事前に」準備、対策しましょう。

① 寝イス、ベッド 「座・リラクマイスター」	遊樂所、オフィス、空港、 アウトドア	④ 折畳み式簡易水櫃 「アクアマイスター」	遊樂所、マンション、消防署、 工事現場
② 隠仕切りテント 「らくらくシェルターテント」	遊樂所、空港、中学校、 工場	⑤ 止水シート 「パネテクター」	マンション、駅、空港、 ショッピングモール
③ 陸上テント 「エアマイスター」	遊樂所、病院、空港、 イベント	⑥ 救護担架 「ストレッチャーマイスター」	病院、オフィス、駅、学校、 スポーツ会場



■ グリーンアップマイスター

お庭でのプランターの土入れ替え作業や、おうちでの軽作業など多用途に使えます。
「綿帆布」を使用しており、高撥水と高耐久をもった安心できる商品です。

<https://kanbo.co.jp/cms/wp-content/uploads/2023/07/グリーンアップマイスター園芸トレーシート.pdf>



① シートをトレイにする手順 / ② トレイをシートにする手順

- ① ボタンを巻付けているひもをほどく
- ② 裏のシートをひく
- ③ 裏のシートを上げた状態(二つ折りの状態)
- ④ ニツ折りの状態のシートをひく
- ⑤ 角をつまみシートを立ち上げる
- ⑥ つまんだ角をベルト通しに差し込む
- ⑦ 裏のシートをひく
- ⑧ シートを裏面のボタンを上にして縦半分に分けて折り畳む
- ⑨ ベルト通しから外したシートをひいた状態
- ⑩ シートをベルト通しから外す

園芸トレーシート

グリーンアップマイスター

使い方が簡単！
くるくる丸めてコンパクト保管！
お庭でのプランターの土入れ替え作業、
おうちでの軽作業に便利です。

「綿帆布」を使用
高撥水×高耐久

使用シーン
・プランターの土入れ替え
・アウターボックスの設置
・テントの防水処理
・子供のおもちゃ入れ 等

品番: GUXNETS1 シート: (約) 60×60cm トレイ: (約) 38×38×H10cm カラー: (標準) グリーン (オプション) オレンジ	品番: GUXNETS2 シート: (約) 92×92cm トレイ: (約) 78×78×H10cm カラー: (標準) グリーン (オプション) オレンジ
---	---

KANBO PRAS



【品質について】

品質方針

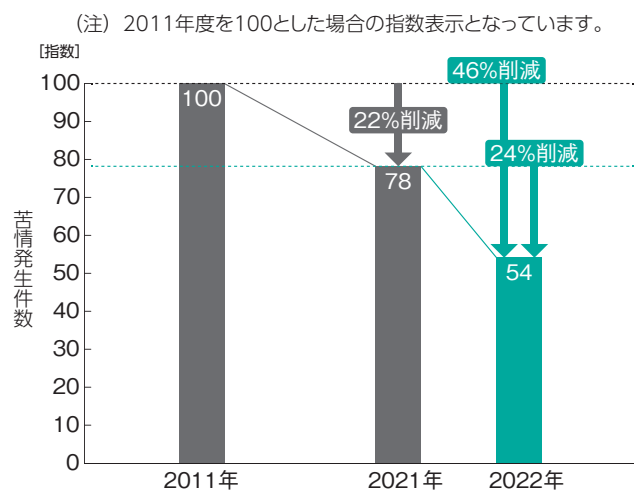
- 福井工場は、全員の責任と役割を明確にし、お客様の満足度向上に努める。
- 福井工場は、法令を遵守し、社会的規範となる。
- 福井工場は、設定した品質目標を達成させ、かつ継続的に改善する。
- 福井工場は、品質マネジメントシステムの有効性を定期的に見直す。

改定 2013年12月1日

苦情発生状況

2022年度の苦情発生件数は前年度と比較して24%削減しました。
お客様に指摘していただいた不具合の真因を捉え、確実に改善を進めていきます。

苦情発生件数推移

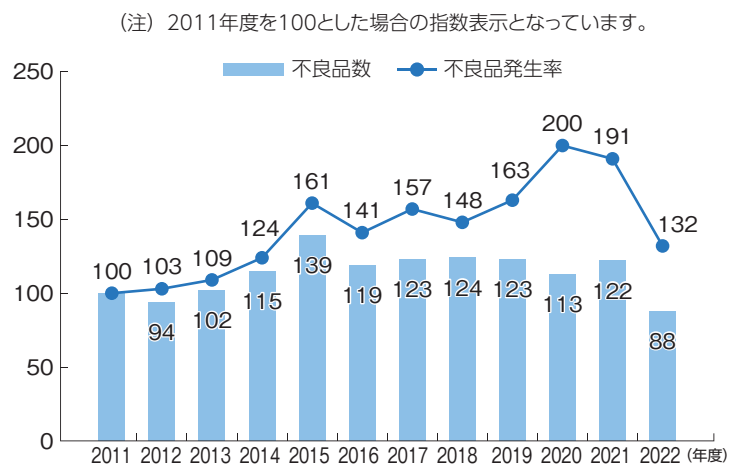


不良品発生状況

不良品発生件数、発生率ともに減少傾向で推移しております。不良品発生の要因としては、設備要因と加工要因があり、設備要因では、不良品発生を抑えるため、設備点検・清掃を定期的実施し不良品発生に歯止めを掛けています。加工要因では、工程内管理を確実に実施し、「作業手順書の見直し」「加工条件の改訂」「工程内検査の徹底」などの活動で、不良品発生低減に取り組んでおります。また、作業環境の改善、5Sの推進を実施しており、衛生面からも不良低減に努めています。

これら様々な活動で、当社製品を安心してご使用いただけるよう、取り組んでいきます。

不良品発生件数推移



小集団活動

福井工場では安全性、生産性の向上、品質向上のために班長を中心にグループとなり、作業標準書の更新を行っています。

労災ゼロを目指し、KY活動やリスクアセスメントの作成、第三者の目線で危険箇所を発見するために安全パトロールを実施し、より安全な職場にする活動にも積極的に取り組んでいます。



環境方針

当社は、地球環境と自然保全に努め、より安全な製品を提供し続けて『環境のカンボウ』を目指します。

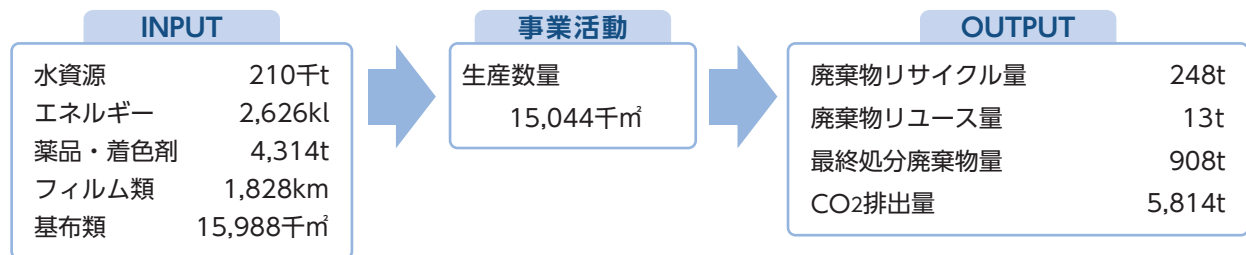
『環境基本方針』

当社は産業資材、工業資材、生活資材及びその他の樹脂加工繊維製品の生産を中心とした企業活動において、環境負荷の低減を目指し、以下の方針に則って行動します。

1. 当社は、地域社会と協調し、対話を大切にし、環境管理活動を通じて社会に貢献します。
2. 当社の事業活動において、省資源、廃棄物の削減、環境負荷物質の管理を行い、汚染の予防を含めた、より良い環境の維持、向上に取り組みます。
3. 定期的な内部環境監査の実施により、環境管理活動の実施状況と結果を確認し、環境マネジメントシステムの継続的な改善に努めます。
4. 当社の事業活動に関する環境関連法規制及びその他の要求事項を遵守します。
5. 当社の事業活動にかかわる環境側面について、環境目的及び目標を設定します。また、環境目的及び目標は、環境方針と共に、年一回見直しを行います。
6. 環境方針は、環境方針書として文書化し、環境マネジメントシステムにより実行、維持します。
7. 環境方針は、全従業員に周知認識し、方針に則って行動するように、全従業員に対する教育、訓練を実施します。

本環境方針は、社外からの要求、その他必要に応じて公表します。

事業活動における環境負荷(福井工場)



環境負荷低減製品開発への取り組み

お客様から環境配慮商品の要望が増えてきています。カンボウプラスでは安全なグリーン材料を使用した製品や放射冷却素材を利用した製品・災害時に役立つ製品・マイクロプラスチックを脱落させない製品など、お客様の要望に合わせた製品設計・開発を進めています。今後も環境に配慮した製品開発に取り組んでいきます。

地球温暖化防止への取り組み

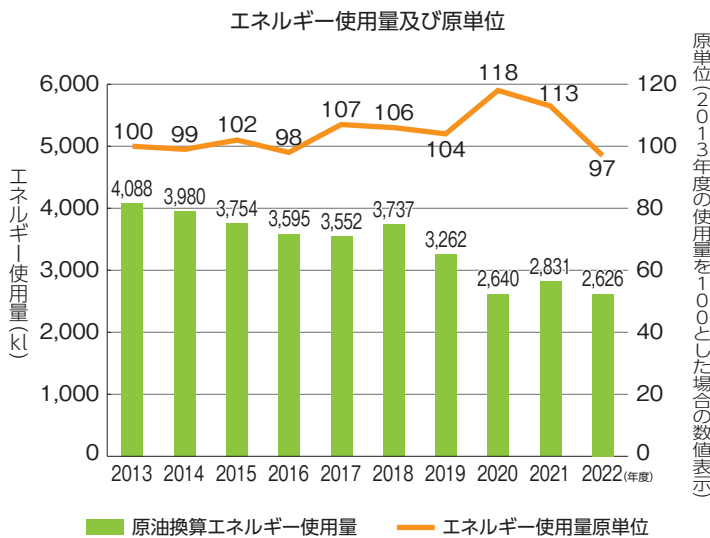
地球環境を考える上で、企業のCO₂排出量削減への取り組みは非常に重要な役割を担っています。CO₂排出量削減の取り組みとして、照明のLED化(水銀灯含む)・省エネ設備導入・カーボンフリー電力の活用・ゼロエネルギーで冷却できる膜材料の開発・クールビズ・ノーマイカーデーなどを従業員一丸となって推進しています。



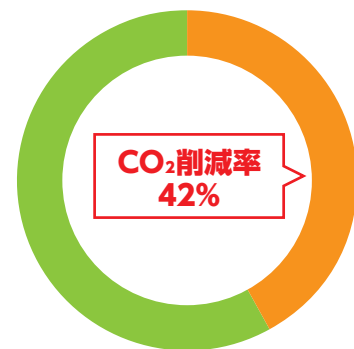
エネルギー消費量とCO₂排出量

機械設備、サポートセンター、第1工場建屋照明のLED化を実施しました。また蒸気設備関係では蒸気使用量が増加する冬季前にスチームトラップの点検、交換を実施しました。また生産数量は脱コロナの影響を受け8%増加し、エネルギー効率の良い生産状況となりました。また2022年度はカーボンフリー電力を432kWh購入しました。そのためエネルギー消費原単位では、前年より約15%削減、CO₂排出量原単位につきましては、約18%の削減となりました。

引き続き照明のLED化、保温材の補修、スチームトラップの状態監視を継続実施いたします。また、再生可能エネルギー、燃料転換、省エネ設備などについての調査・研究についても引き続き進めていきます。



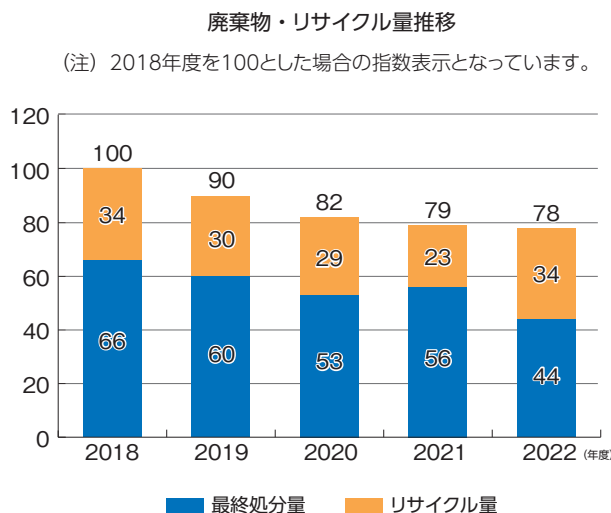
CO₂排出量削減率



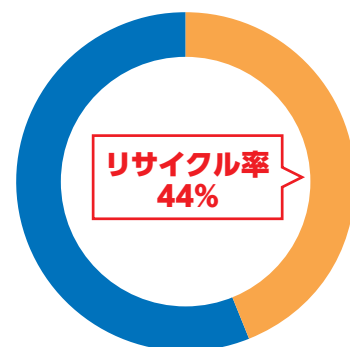
2013年度排出量比 (Scope1・2)

廃棄物削減への取り組み

昨年度より生産量が増加しましたが、廃棄物の総量は減少しました。リサイクル・リユースへの取り組みの結果、リサイクル率が向上しました。今後も、再生が困難な廃棄物の削減と再生への取り組みを推進していきます。



2022年度リサイクル率



最終処分量 リサイクル率

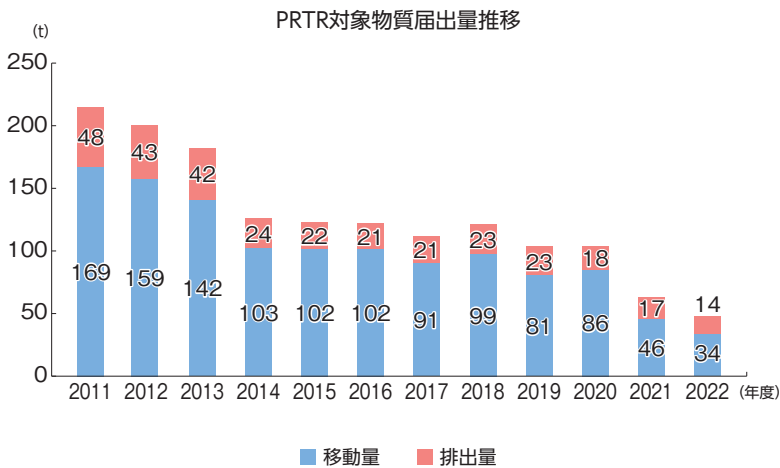


PRTR法への対応

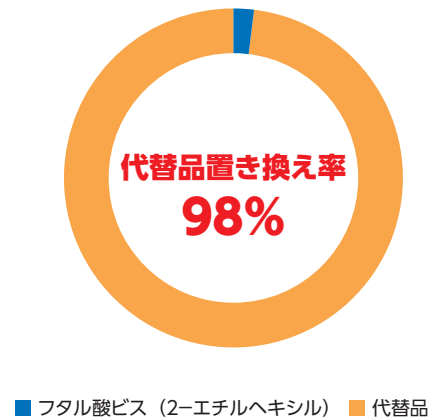
2022年度のPRTR対象物質の排出量及び移動量の届出合計量は2年連続で減少し、2020年度比で88%の減少となりました。

PRTR制度では第一種指定化学物質の環境へ排出される量（排出量）及び対象物質を含む廃棄物が事業所外へ移動される量（移動量）について届け出ることになっています。

これは対象物質のひとつである可塑剤フタル酸ビス（2-エチルヘキシル）の置き換えが進んだことが影響しています。



フタル酸ビス（2-エチルヘキシル）の置き換え率



グリーン推進活動

2022年度もエコキャップ回収運動に参加しました。この活動はペットボトルキャップの回収を行い、特定非営利活動法人エコ・ワクチン協力会を通じて、プラスチックとして再利用することによって得た利益がワクチン購入代金に使用されます。今後も継続して活動を行っていきます。

カンボウプラスは事業所周辺の美化活動を継続的に実施しております。本社では、2023年2月に「大阪マラソン“グリーンUP”作戦」に参加し、空き缶や吸い殻などのゴミ拾いを行いました。福井工場では鯖江市が主催するグリーンUP作戦に参加し、ごみ拾いSNS「ピリカ」を通じてごみ拾いの様子を発信しています。





文化ファッション大学院大学との取り組み

2021年に発足した商品企画プロジェクトの活動の一環として日本唯一のファッション専門職大学院である文化ファッション大学院大学との産学連携プロジェクトを立ち上げ、30名以上の大学院生からアイデアを募集。ファッション系の学生が普段扱うことのない頑丈な産業資材の縫製や溶着に苦戦しながらも、1年次生には小物雑貨、2年次生には「Work Wear」をテーマに作業服を制作いただきました。防水や防災など素材本来の機能性を活かしながらもデザイン性が高い作品が出来上がり、その活動はPVCニュースでも新たな試みとして掲載していただきました。特に実用的な商品に関しては自社で商品化を目指しています。

商品企画プロジェクトでは利益追求だけでなく、社会貢献、環境保護など、カンボウプラスの社会的責任をより強く意識した活動を今後も続けていきます。



▲大学院大学での講義風景



▲PVCニュース取材風景



▲1年次生による小物雑貨作品



▲文化学園正門に展示された
2年次生による「Work Wear」

従業員への教育

人材育成を経営重要課題と考え、職種別研修、階層別研修、自己啓発のための通信教育支援などを実施しています。また、定額制社外研修制度を設け、社外ビジネスセミナーへの参加も実施しています。

2022年度もWEBシステムを活用した社内研修やオンライン英会話、eラーニングを継続して実施しています。

今後も従業員教育の充実を図り、社会から愛され信頼される企業であり続けるため、従業員の能力向上に努めていきます。



▲2022年4月 新入社員研修



▲2022年6月 営業職研修



▲2022年7月 福井工場安全講話



▲2023年3月 事務職研修



公的資格取得の推進

2012年度に従業員の能力向上と自己啓発を促進するため公的資格支援規定を策定し、様々な資格に対して合格お祝い金を支給するなど、従事業務に主体性をもって遂行できるよう各種公的資格の取得を進めています。

2022年度は本社、東京支店、福井工場の従業員があわせて27件の資格を取得しました。

ABC

TOEIC
1名



クレーン5t未満運転特別教育
3名



フォークリフト運転技能講習
3名

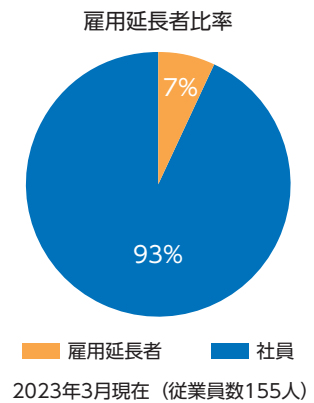


防火管理者
1名

雇用

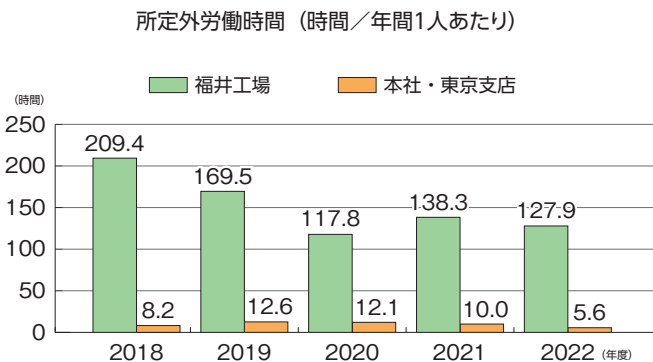
2006年度に60歳で定年を迎えた従業員に対して再雇用制度を創設し、雇用延長者の知識やキャリアを活かして若年者従業員の育成などを行っています。また、2012年度には、年金不支給期間への対応として、65歳までの雇用延長制度を確立し、2013年度には、雇用延長者に評価制度を導入し、仕事への意欲を向上させるため、シニア制度規定を制定しました。

2022年度は定年退職者数3名の内、3名全員が雇用延長しました。

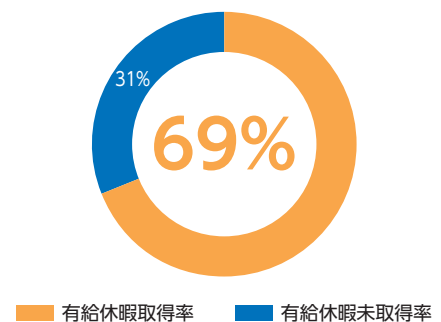


ワークライフバランス

仕事と生活の調和（ワークライフバランス）を目的に、ノー残業デー、最終退出時間の設定と誕生日有給休暇、一斉有給休暇の取得を促進し、総労働時間の削減と長時間労働の撲滅に取り組んでいます。



2022年度 従業員年次有給休暇取得率



緊急事態への備え

2016年4月1日より「事業継続マネジメントシステム（BCMS）」の運用が始まり、BCMSに関する教育・研修を継続的に実施しています。2018年12月には、震災や台風などの自然災害、テロなどの人為災害における非常時の従業員の安否確認のため、警備会社の「安否確認サービス」を導入しました。より迅速に従業員の安否が確認できるように日頃からの訓練などを実施しています。



労働安全衛生

カンボウプラスでは、安全衛生パトロールや労使合同で開催する安全衛生委員会を通じて、全従業員が安全で働きやすく、健康に配慮した職場の確保に努めています。

主な活動	事業所
安全衛生管理活動計画表の策定	本社・東京・福井工場
安全衛生委員会の定期開催(労使合同)	本社・東京・福井工場
安全衛生パトロールの定期実施と是正処置	本社・東京・福井工場
新入社員への安全衛生教育の実施	本社・東京・福井工場
定期健診、生活習慣病予防検診、健康相談会の実施	本社・東京・福井工場
マスクの配布、うがい薬・消毒薬の設置	本社・東京・福井工場
ストレスチェックの実施	本社・東京・福井工場
就業時間中の禁煙の実施	本社・東京・福井工場
作業環境測定の実施	福井工場
特殊健康診断の実施	福井工場
安全衛生コンサルタントによる工場パトロール(毎月)	福井工場
安全衛生コンサルタントによる講話	福井工場
冬用タイヤ装着確認	福井工場
産業医による工場パトロール	福井工場
職場ごとのリスクアセスメントの実施及び事例発表(毎月)	福井工場

労働災害発生件数

2022年度も前年度に続き、労災ゼロを達成しました。福井工場では労災ゼロを目指し、リスクアセスメントや安全教育のさらなる推進、安全衛生コンサルタントによるパトロール・指導など安全対策を一層推し進めていきます。

休業労働災害発生件数



内部通報制度

カンボウプラスは違法行為の防止、早期発見及び是正を図るため「カンボウ・ヘルプライン」と呼ばれる内部通報制度を設けています。

2023年1月には、全従業員を対象としたリスク・コンプライアンス研修を実施しました。今後も内部情報提供者の保護とともにコンプライアンスの強化を図り、ハラスメント教育にも努めていきます。

「健康経営優良法人2023」(中小規模法人部門)認定取得

2023年3月、カンボウプラスは経済産業省が公表する健康経営優良法人認定制度におきまして中小規模法人部門で「健康経営優良法人2023」の認定を取得しました。

健康経営優良法人は、地域の健康課題に即した取り組みや日本健康会議が進める健康増進の取り組みをもとに、特に優良な健康経営を実践している法人を顕彰する制度です。



カンボウプラス株式会社

〒541-0054

大阪府中央区南本町1-8-14 JRE堺筋本町ビル

TEL 06-6262-1277 FAX 06-6262-9419

URL <https://kanbo.co.jp/>